

2009年版

# 環境報告書



2010年 6月

日東精工株式会社



「私達は、環境にやさしい企業を築くため、  
みんなで努力して行動します」

## 目次

ご挨拶	2
会社概要	3
環境方針	5
環境管理体制	6
環境目的目標	7
環境目標実績	8
環境活動	9
環境コミュニケーション	11
環境管理コスト	12
環境品質保証	13
省エネルギー活動	14
水質汚濁物質量	15
廃棄物量・リサイクル率	16

### 報告書の対象範囲

1. 報告書の対象範囲は本社工場、八田工場です。
2. 報告期間は、2009年1月1日～2009年12月31日です。
3. 報告対象は、環境分野です。



表紙:「和木松原梅園」  
(綾部市和木町)



## ごあいさつ

一昨年のリーマンショック以降、世界経済に本格的な回復が見られない中、ここにきて円高・新興国での需要拡大により、国内製造拠点の海外進出、海外における組立部品の現地調達化が加速しています。さらに円高の進行は、国内においても部品の海外調達を促し、我が国の製造業の空洞化問題が緊迫化しつつあり、新産業技術・高付加価値製品の開発が求められています。このような状況下にあっても、地球環境問題への対応は必須であり、企業の社会的責任として、たゆみない取組みが必要となっています。

当社は、環境負荷低減の推進を経営の重点項目として掲げ、地球環境に配慮した生産活動を進めております。地球温暖化の原因である二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の削減のため、自動車などの軽量化を支援する高硬度アルミ製タッピンねじ、エアや消費電力を低減するねじ締め機など、CO<sub>2</sub>削減を実現する製品を市場に投入しております。また製品の小型・軽量化も開発段階から配慮し、省資源化に努め、生産においては、廃油などの産業廃棄物を低減する生産方式、少ないエネルギーで生産を行う取組みを拡大しております。

地球環境問題は21世紀最大の課題であり、今後も企業活動を展開する上において、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項と位置づけています。常に先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを全従業員一丸となって実践し、エコ対応製品の開発、省エネ・省資源のモノづくりをさらに加速し、環境革新企業として邁進していく所存です。

2009年の環境報告書では、当社が実践した環境貢献の代表的な事例を中心に紹介しています。私どもの日ごろの事業活動の一端をご理解いただき、取組みや活動につきまして、ご意見をいただきましたら幸いです。

2010年6月30日



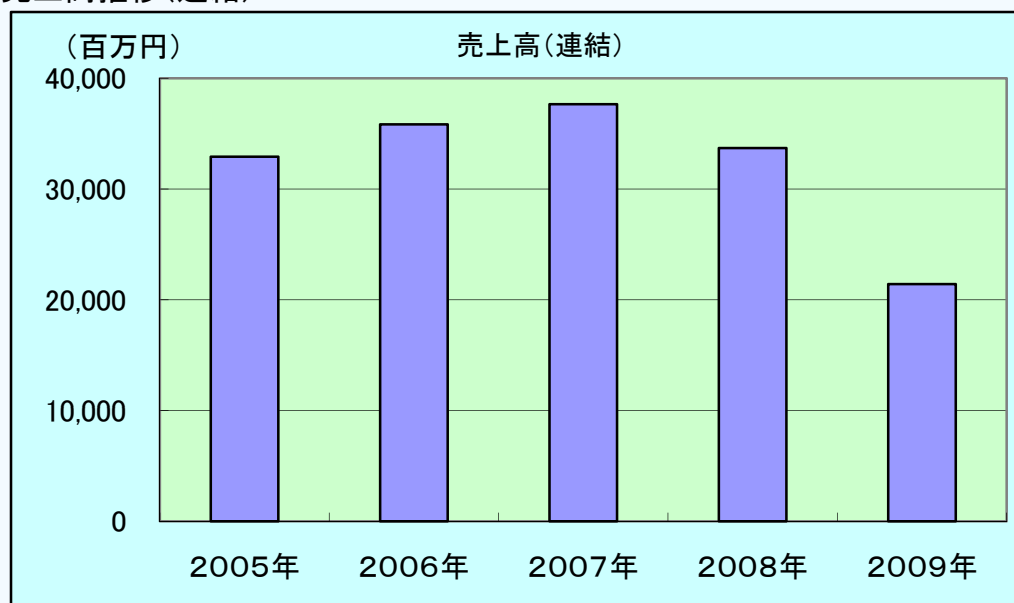
代表取締役社長  
塩田 展康

## 会社概要

(平成21年12月31日現在)

社名	日東精工株式会社 NITTO SEIKO CO.,LTD
所在地	本社／623-0054京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
代表者	取締役社長 塩田 展康
設立	1938年2月25日
資本金	3,522百万円
従業員数	686名
主要生産品目	ねじ類、特殊冷間圧造部品、ピン及びリベット 自動ねじ締め機、自動組立機、産業用ロボット、ドライバ 各種流量計、LPG充填装置、データロガー 地盤調査機、検査選別装置

### 売上高推移(連結)



## 国内拠点



## 製品情報

セルフタッピンねじ  
マルチタイト<sup>®</sup>



高硬度アルミ製タッピンねじ



サイレントフィーダ  
「FF1000HS」



位置確認機能付  
V型アームドライバ



新スウェーデン式サウンディング自動貫入試験機  
ジオカルテ<sup>®</sup> II JM\_model



振動検査装置  
キズミル

# 環 境 方 針

## 環 境 基 本 方 針

企業活動を展開する上において、環境保全を最重点とし、地域環境と地球環境を守り、社会と調和して豊かな社会の実現に貢献することを目的とします。

## 基 本 理 念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取組みを実践し、地域社会に信頼していただける会社を築いていきます。

## 行 動 指 針

1. 法的要求事項及び関係するその他の要求事項を遵守し、汚染予防に努めます。
2. 省エネルギー、省資源に努めます。
3. 廃棄物の減量化とリサイクルの推進に努めます。
4. 地球環境に影響を与える物質の削減に努めます。
5. 商品・サービスの提供にあたっては、環境影響に十分配慮します。
6. 環境意識の向上を図り、全員で取組みます。
7. 地域との共栄を図り、地域への貢献と信頼を得るよう努めます。

## 社 長 コ ミ ッ ト メ ン ト

当社は事業活動として、工業用ファスナー・自動組立機械・計測制御機器等の製造販売を行い、社会に貢献していきます。その事業活動を行うにあたり、環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つと位置づけ

『私達は、環境にやさしい企業を築くため、  
みんなで努力して行動します』

をスローガンに、経営層をはじめ全従業員が地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めます。

1. 事業活動、製品について環境影響評価に基づき、環境管理活動を技術的・経済的に可能な範囲で、全員で取組み、環境目的および環境目標を設定、推進し、汚染の予防と継続的な改善・向上に努めます。
2. 環境保全に関する法令と、当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 地域との共生を図り地域への貢献と信頼を得るよう努力します。
4. 環境方針は掲示し、全従業員と組織で働く全ての人々に、環境カードを配布し周知徹底を図ります。

この環境方針は、社内外に公表します。

2010年 1月 1日

代表取締役社長 塩田 展康

## ISO14001 認証登録経過

2000年5月 本社工場・八田工場ISO14001:1996認証登録

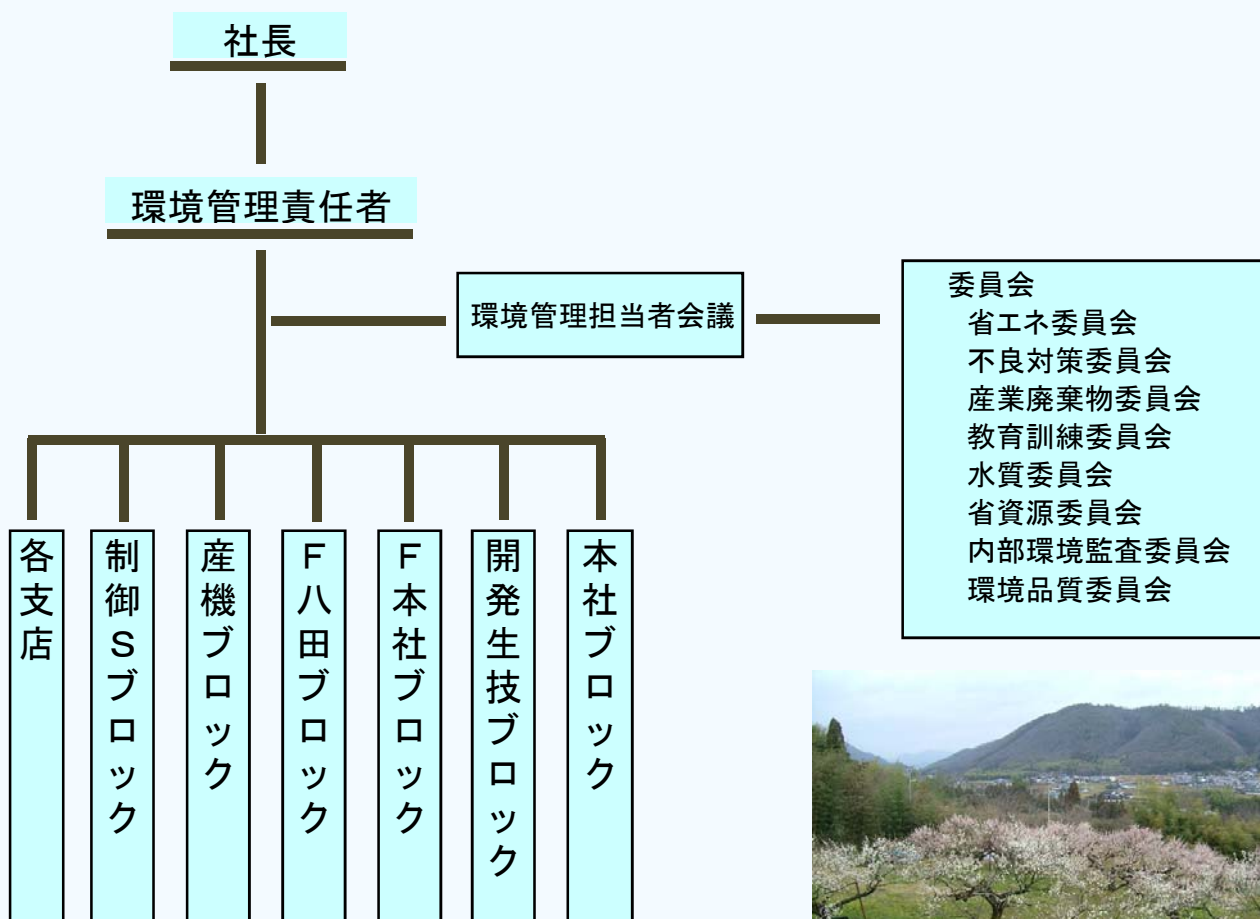
2005年5月 本社工場・八田工場ISO14001:2004移行登録

2008年7月 城山工場・制御システム工場ISO14001認証登録

城山工場と制御システム工場の認証取得により、全ての工場において環境管理システムを推進する運びとなりました。

## 環境管理体制

社長以下環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。また全社の委員会として、環境管理担当者会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的目標の達成にむけた活動を行い、各部門で展開しています。



# 環境目的目標

日東精工 環境目的

2010年 1月 1日制定

日東精工株式会社の環境目的・目標を以下に定める。

日東精工株式会社  
代表取締役社長 塩田 展康

環境目的の策定	
環境方針に基づき、2009年から3年間の環境目的を策定する	
環境目的	
1. 二酸化炭素排出量の削減	<p>目標 2011年に2008年比 3%削減する 二酸化炭素を267t削減する</p> <p>内訳 ① 電力消費量を67万Kwh削減する ② 灯油消費量を2.8K<sup>ℓ</sup>削減する ③ LPG消費量を3.8t削減する ④ 廃棄物を92t削減する ⑤ 廃油廃アルカリを50%リサイクルする</p>
2. 環境リスクの低減 ・環境リスク要因の削除、改善を図る	<p>① 亜鉛排水濃度規制2mg/ℓを遵守する ② 地下汚染防止対策を推進する</p>
3. 環境にやさしい業務を推進する	<p>① 職場環境の整備と美化の推進 ② 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の排除を行う ③ 地域環境に配慮した生産活動を行う</p>
2010年 環境目標	
環境目的に基づき 2010年の環境目標を定める	
1. 廃棄・終品不良率、クレーム(社内外)件数を前年度比30%削減する	<p>(1) 廃棄重量を30%以上削減する (2) 終品不良を30%以上削減する (3) 省エネ省資源を推進する</p>
2. 廃棄物のリサイクル化を進める	<p>(1) 廃油・廃アルカリを再利用する (2) 廃棄物のゼロエミッションを目指す</p>
3. 環境リスクの低減	<p>(1) 亜鉛排水濃度2mg/ℓ対策を実施する (2) 薬品、油などの漏洩防止、オイルパン設置、漏れ対策を実施する</p>
4. 環境にやさしい業務を推進する	<p>(1) 省エネ、省資源活動を徹底し、ムダをなくする (2) 工場の美化、不要物の撤去、廃棄物の削減と分別の徹底を図る (3) 3M(ムリ、ムダ、ムラ)の排除を行う (4) 地域や住民に配慮した作業を行う</p>





## 環境目標と実績

環境目的	2009年環境目標	2009年活動実績
二酸化炭素排出量の削減	対前年比 102 t 削減する。 原単位目標を 0.350 とする。	実績 2,135 t を削減することができましたが、年度前半の生産量が激減した影響を受け、原単位達成率 76% と目標達成することはできませんでした。
	電力の削減 前年度比 25 万 kwh 削減する。	対前年比 427 万 kw 削減 原単位達成率 79%
	灯油の削減 前年度比 1.3 kl 削減する。	対前年比実績 64.3 kl 削減 対前年比 83%
	LPG の削減 前年度比 1.8 t 削減する。	対前年比実績 93.0 t 削減 対前年比 69%
	産業廃棄物の削減 廃棄物リサイクル率を 70%	実績 69.4% 達成率 99.1%
環境リスクの低減	亜鉛排水濃度規制 2mg/l を遵守する。	上澄みろ過方式を検討し、排水基準 2ppm はクリアできる施設導入を準備しました。
	使用エネルギーを削減する。	めっきベーキング炉を省エネ型乾燥炉に更新しました。
	地下汚染防止対策を推進する。	オイルパンを設置し、対策を推進しました。
環境にやさしい業務を推進する	職場環境の整備と美化の推進	環境月間にて提案の募集を行い、総数 659 件の提案がありました。
	3M（ムリ、ムダ、ムラ）の排除を行う	仕事の見直しにより 3M を排除し、環境にやさしい業務を意識して取り組みました。
	地域環境に配慮した生産活動を行う	工場美化、地域環境美化に取り組みました。
JQA 審査更新		不適合なし 2012年まで更新

## 環境活動

## 環境活動

### 外部監査

4月に更新審査を受審し、不適合はありませんでした。

### 内部監査

3月に内部環境監査を実施しました。

40部門・各委員会を内部監査による是正を行い、システムの構築を図りました。

## 環境教育

### 環境教育実施項目

新入社員教育  
管理監督者教育  
一般教育  
特定業務従事者教育  
内部環境監査員教育

エコ検定に10名合格しました。



### 緊急時の訓練

秋の火災予防週間に合わせて火災訓練、LPガス漏洩訓練、薬品漏洩訓練を実施しました。



消火訓練及び負傷者救護訓練

## 環境法遵守

法に定められた事項は全て遵守しています。

環境設備	酸・アルカリ表面処理施設、乾燥炉設置届出 塩化メチレン洗浄機廃止など特定施設の届出を行っています。
環境測定	大気、水質、騒音、振動測定を定期的に実施しています。全て京都府 条例基準を遵守しています。
報告書	エネルギー指定工場、産業廃棄物年次報告、PRTR年次報告 京都府温対条例年次報告など全て届け出を行っています。
廃棄物	一般廃棄物・産業廃棄物は全て適正処理を行っています。

## 環境リスク

温暖化物質削減への対応

長年使用してきましためっきベーキング炉を省エネ型タイプに更新しました。

工場排水

高濃度廃液の排水処理ルートを整備し、自主基準値を遵守してまいります。

緊急時対応

火災や薬品の漏洩を想定し、毎年訓練を行っています。

化学物質管理

商品へ影響をする有害物の使用は全廃しました。また、使用材料、購入品からの  
有害物汚染がないように管理をしています。

環境リスク管理

土壌汚染・地下水汚染

騒音

大気放出

などの問題の発生を予測し、事前に対応を行い回避をしています。

事故・苦情への対応

2009年においては環境の事故発生、苦情の発生はありません。

## 環境コミュニケーション

○環境報告書は、会社ホームページにて公開しています。

アドレス <http://www.nittoseiko.co.jp/>

○地域連絡会

地域との環境対応を進める目的で、自治会関係者の方々に出席いただき毎年開催しています。

○緑化活動

5月に開催される綾部市みどり公社の由良川花壇展に毎年参加しています。

2009年は綾部市市議会議長賞を受賞しました。

○奉仕活動

あやべ水無月まつり後の清掃活動



由良川花壇展



「ECOCAPで世界の子どもたちにワクチンを届けよう」と現在エコキャップキャンペーンを展開中



夏の大ジャンボリー ボランティアスタッフ



「あやべ良さ来い」おどりに参加

## 環境管理コスト

対象期間: 2009年 1月 1日～2009年12月31日

(単位: 千円)

	投資額	費用額	合計	主な内容
公害防止		25,198	25,198	大気汚染防止 水質汚濁防止 土壌汚染防止 騒音防止 その他の公害防止
地球環境 保全	0	4,518	4,518	地球温暖化防止及び省エネルギー オゾン層破壊防止 その他の地球環境保全
資源循環	0	22,311	22,311	資源の効率的利用 一般・産業廃棄物のリサイクル等 一般・産業廃棄物の処理・処分 その他の資源循環
上・下流				製品商品等の回収、リサイクル、適正処理 その他の上・下流コスト
管理活動	0	15,389	15,389	環境マネジメントシステムの整備、運用 環境情報の開示及び環境広告 環境負荷監視 従業員への環境教育等 事業所及事業所周辺の緑化、美化等
研究開発				環境保全に資する製品等の研究開発 製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発 その他、物流段階や製品等の販売段階等における環境負荷の抑制のための研究開発
社会活動	2,400	0	2,400	事業所及び事業所周辺を除く自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策 地域住民の行う環境活動に対する支援及び地域住民に対する情報提供等の各種の社会的取組
合計	2,400	67,416	69,816	

# 環境品質保証

## 環境品質保証に関する方針

### 基本理念

日東精工株式会社は、地球環境の環境保全の有用性を優先課題の一つとして強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境問題に配慮して行動し、社会の発展に貢献する。生産に関する部品、材料、製造工程の地球環境への影響を配慮し、環境にやさしい製品の提供を行う。

### 環境品質保証に関する方針

日東精工株式会社は「顧客に対し最大の満足を得る」をビジョンとし、機構部品の調達、販売に関わる環境品質保証の物質を以下のように定め使用禁止、全廃を図る。

#### 1. 使用禁止物質

- ①カドミウム及びカドミウム化合物
- ②PBB（ポリブロモビフェニル）類及びPBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）類
- ③PCB（ポリ塩化ビフェニル）類
- ④ポリ塩化ナフタレン類
- ⑤有機すず化合物（トリブチルスズ類・トリフェニルスズ類）
- ⑥石綿（アスベスト）
- ⑦アゾ化合物（分解によりアミンは発生する可能性があるものの、人体に持続的に触れることを前提として作られた製品の人体接触部分）
- ⑧ホルムアルデヒド
- ⑨塩化メチレン
- ⑩HCFC（代替フロン）類
- ⑪POPs（残留性有機汚染物質）（PFOA、PFOS等）

#### 2. 全廃物質

- ①水銀および水銀化合物
- ②PVC（ポリ塩化ビニル）及びPVC混合物
- ③PBB、PBDE以外の有機臭素化合物（臭素系難燃剤）
- ④塩素化パラフィン（塩素系難燃剤・可塑剤）
- ⑤鉛および鉛化合物
- ⑥六価クロム化合物

日東精工株式会社は上記環境管理物質に該当する物質が発生した場合、使用禁止、全廃の措置をとる。尚、環境品質保証の全廃の期限を「別紙 環境品質保証全廃・削減計画表」に記し徹底する。この環境品質保証に関する方針は全社員に周知すると共にユーザー先からの要求に対して開示する。

## 環境品質保証システム

環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように、受入検査を実施し、製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

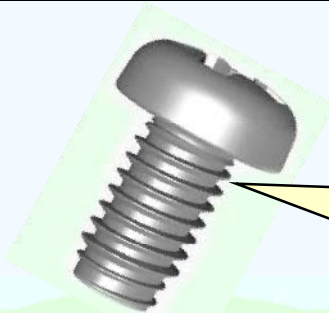
## 管理項目

- ・取引先との品質環境協定書の締結
- ・購入品の不使用証明書、エビデンスの入手
- ・内部環境品質監査の実施
- ・トレーサビリティの管理
- ・環境品質教育の実施
- ・不適合・是正の管理

## 環境品質保証の対象物質

法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。

- ・ELV・RoHS指令物質
- ・REACH規制対象物質（SVHC30物質）
- ・POPs条約物質
- ・ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質



## 環境品質保証製品の提供

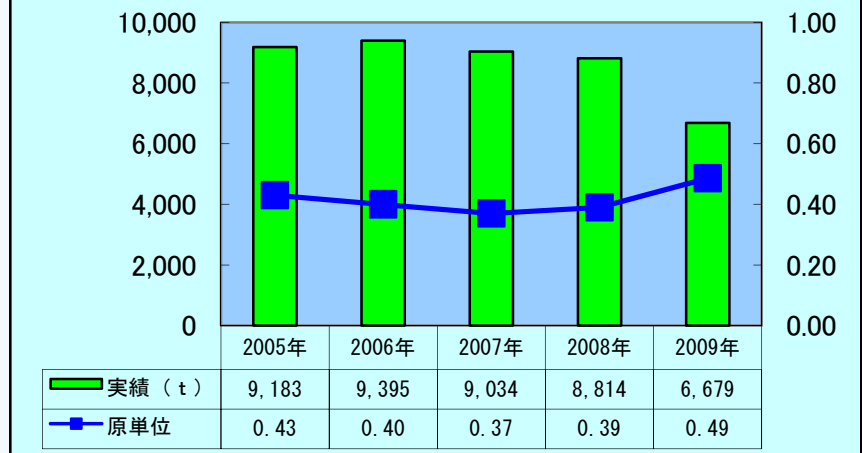
有害物質を入れない、使わない、出さないの「3ない活動」により、環境品質保証製品の提供を御約束します。

## 省エネルギー活動

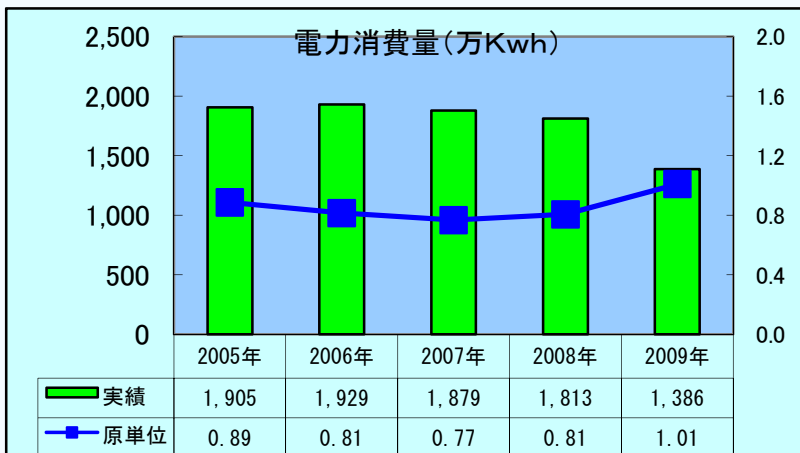
地球温暖化物質の削減を目的として、2009年から3か年の中期計画で、省エネルギーの推進、ムダなエネルギー消費の削減に取り組んでいます。

結果として、二酸化炭素の排出量は前年度比2,135t-CO<sub>2</sub>(24.2%)の削減となりましたが、原単位につきましては前年度より悪化する結果となりました。

二酸化炭素排出量(t-CO<sub>2</sub>)

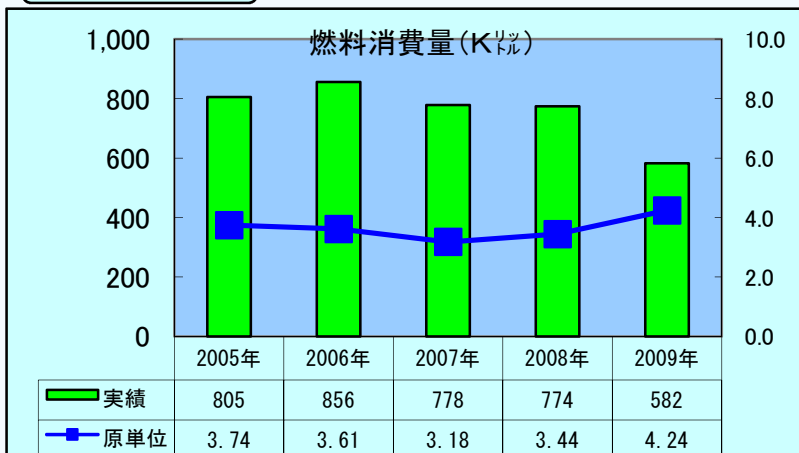


## 電力量の削減



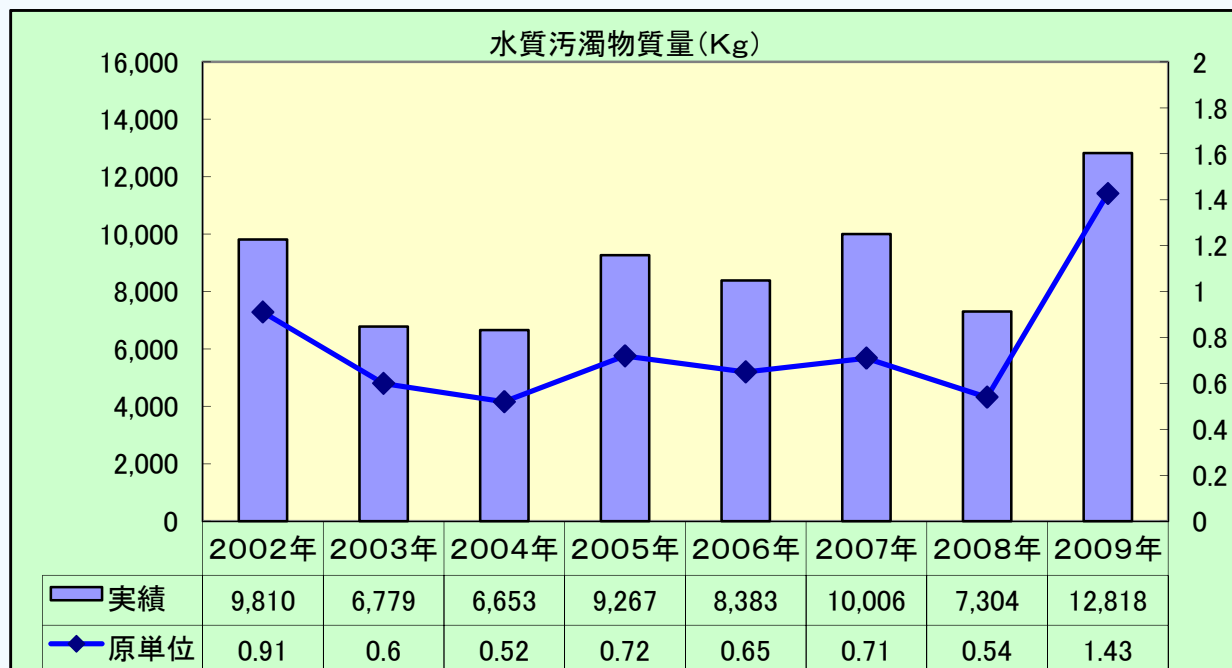
省エネ対策として、2008年に続き水銀灯を蛍光灯に変更する取り組みを行いました。

## 燃料の削減



省エネ型ベーキング炉の更新などにより、昨年よりも消費量が削減しました。

## 水質汚濁物質



生物化学的酸素要求量BODが悪化したことにより、水質汚濁物質量が増加しました。また、売上高の減少により、原単位も悪化する結果となりました。

2011年から亜鉛の排出濃度が2mg/lになり、その対応施設を導入しています。現在の排水処理方法の改善を進め、排水濃度基準の遵守を図ってまいります。

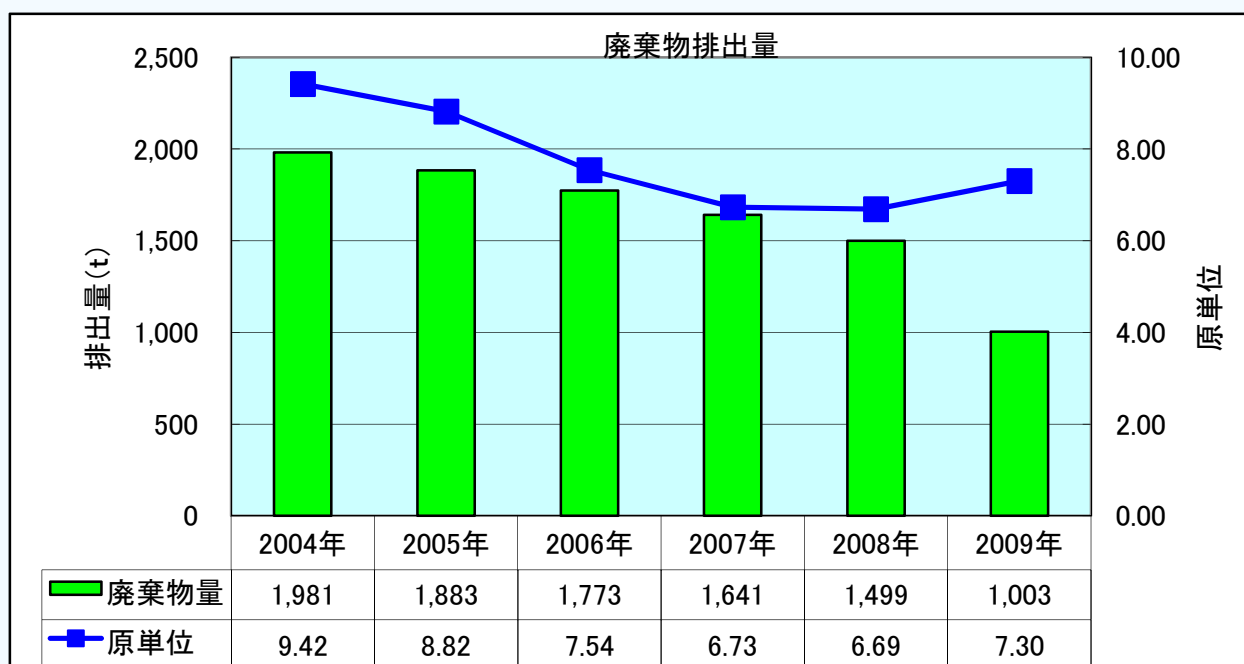
測定項目	規制値		測定値(mg/l)	
	府の基準	社内基準	平均値	最大値
水素イオン濃度 (PH)	5.8-8.6	6.0-8.0	6.4~7.6	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	160	20	17.0	30
浮遊物質 (SS)	200	20	7.0	13
n-ヘキサン抽出物質 (鉱物油)	5.0	3.0	2.30	3.7
六価クロム	0.5	0.2	0.02	0.07
全クロム	2.0	0.5	0.12	0.64
亜鉛	5.0	2.0	1.70	4.40
ニッケル	2.0	1.0	0.31	1.05
銅	3.0	1.0	0.02	0.29
溶解性鉄	10.0	2.0	0.31	1.79

一時的に排水濃度が自主基準値を超えました。今後は排水の平準化と対応施設の導入により排水管理を強化していきます。

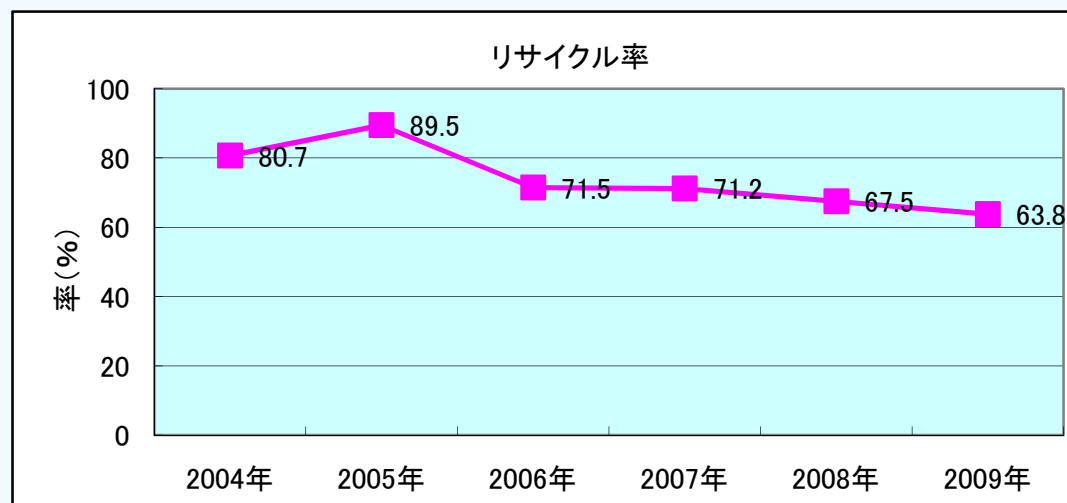




## 廃棄物排出量



生産工程から排出される廃棄物の削減に取り組んでまいりました。特に工程内不良削減に取り組みましたが結果、廃棄物量は削減することができましたが、売上高も大きく減少したことから原単位では0.61ポイント悪化しました。



工程内の廃油を浄化するシステムを検討し、効果を確認しましたが導入にまで至らず、2009年度のリサイクル率の向上は図れませんでした。

しかし、めっき汚泥のセメント原材料へのリサイクルが可能となりました。12月からの実施のためリサイクル率への影響は小さいですが、次年度以降に期待されます。

## 国内拠点

本社・工場	〒623-0054 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 TEL(0773)42-3111
ファスナー 事業部/八 田工場	〒623-0116 京都府綾部市下八田町菩提10 TEL(0773)42-3125
産機事業部 /城山工場	〒623-0003 京都府綾部市城山町2 TEL(0773)43-1550
制御システ ム事業部	〒623-0041 京都府綾部市延町野上畑30 TEL(0773)42-3151
東京支店	〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-2-21 TEL(045)545-3313
北関東営業 所	〒370-0523 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 TEL(0276)63-8158
大阪支店	〒578-0965 東大阪市本庄西1-6-4 TEL(06)6745-8357
名古屋支店	〒465-0025 名古屋市名東区上社5-405 TEL(052)709-5061
九州出張所	〒812-0897 福岡市博多区半道橋1-6-46 (092)411-1724

日東精工株式会社  
ホームページ  
環境報告書に関する  
お問い合わせ先

<http://www.nittoseiko.co.jp/>  
生産技術部環境整備課  
e-mail:kankyo@nittoseiko.com

